

一 會社側ノ動靜

七月二十六日午後三時三十分頃藤村解係シテ左記解雇者
通知書ヲ發送セシメシリ

解雇者 石毛寅吉 平久保勘次郎 狩谷寅次郎 吉田忠助

水越秀吉 小越 定吉 吉田定次郎 中山孝太郎

増田久藏 本所 房吉 鈴木周次郎

尚會社側ニ於テハ勞働者側ノ態度強硬ニシテ爭議持久歎ニ出ツ
ルモノト見做レ七月末ノ補充償付ヲ行ハサル方針ニテ

聲明書

昭和六年六月二十日覺書ヲ以テ交渉セル補充償付金ニ関スル
協定ハ之ヲ破棄ス

月 日

社 名

船橋六治外各位殿

等ノ聲明書ヲ發表シ強硬ナル態度ヲ示スニ至リ一方破産船手

ニ對シテハ仕込金ヲ貸與レ両者ノ勢力ヲ分散セシメテ計利運
シ店リ 地方會社側ニ於テハ小麥ノ出廻期ニ當面シ店ル為メ
内心事感ノ解次ヲ焦慮中ナリ

二 勞働者側

突如解雇通知ニ據シテ船夫必表等ハ対策ヲ協議

一 解雇者數ヲ減セラレタシ

二 各人解雇手當トシテ仕込金ノ四ヶ月分他ニ失業手當トシテ

金百圓宛支給セラレタシ

トノ二項ヲ提テ交渉セルカ會社側ノ一點ニ依リ更ニ七月二十

九日船吏代表船橋六次 野口岡見石毛 本所 及組合代表新

井兵太郎ノ六名ハ丸ノ内船船ビレ四階東京合同運送株式會社

ヲ訪問會社水野事務上會是解雇問題ニ關スル本社ノ意向ヲ報

シ今日午後三時前記者代表等ハ綿毛町文右橋上ニ於テ江波彦文

部長ト會見シ組合代表新井兵太郎ヨリ左記ノ通り提呈シ